

将棋の心 手ほどき

田中九段「達人まねて」 宜野湾
長田小

読んで
広がる
NIE

【宜野湾】沖縄を訪れている日本将棋連盟専務理事の田中眞彦九段が10日、宜野湾市立長田小

学校で同校将棋部の児童や中高生らに将棋を指導した。田中さんは400年前の将棋の名人の作法に触れながら、駒の並べ順や、指し手、投了し



子どもたちを指導する日本将棋連盟の田中眞彦専務理事（9段）10日後、宜野湾市立長田小学校

て駒をしまうまでの流儀、を中心に指南した。

田中さんは「強くなる一番の基本は、うまい人の手を覚えること。実際自分の手で再現してみることが大切」とアドバイス。「負けたときは『負けました』としっかり言うことも大事。失敗を認め前に進むことも大切にしてほしい」と述べた。